

●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠…「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫…「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

🗣…「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

●取り付け方

A 古い水栓の取り外し

🗣 水栓をはずす前に止水栓を止めてください。

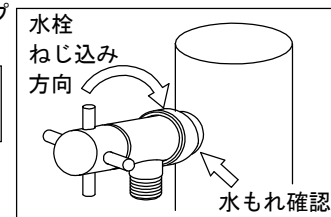
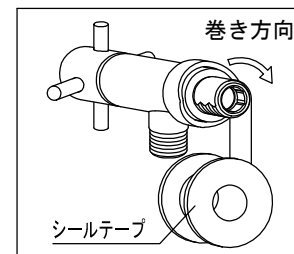
- ① 止水栓を止めたあと、古い水栓のハンドルを開いて水栓内に残っている水を抜きます。
- ② 両手でしっかり水栓を握って、水栓を左にまわして取り外します。
- ③ 配管内に残ったゴミや古いシールテープは取り除いてください。

⚠ 配管内にゴミが残っているとパッキンを傷つけ、水もれの原因になります。

B 新しい水栓の取り付け

- ① 新しい水栓のねじ部にシールテープを引っ張りながら、時計廻りに巻きつけます。
巻数は目安として5～8回です。必要に応じて増減して下さい。
- ② 新しい水栓を右に回しながらねじ込みます。最後までねじ込んで水栓が傾く場合はシールテープの巻数で調節してください。

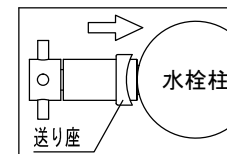
🚫 一度ねじ込んだ水栓は、絶対に左に回して緩めないでください。水もれの原因になります。



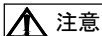
C 水もれ、通水の確認

- ① 新しい水栓はハンドルが開いたので、一度閉めて止水栓を開けます。
- ② 約1分ほどそのまま様子を見て、水栓取り付け部分から水もれがないことを確認してください。
- ③ 最後に送り座を水栓柱に押し当てて作業終了です。

🗣 水もれする場合は、Bの作業をもう一度行ってください。



●ご使用上の注意



注意

- 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。凍結破壊で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財等を濡らす家財損害発生のおそれがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。ケガしたり、故障・破損のおそれがあります。
- 水道水以外で使用しないでください。水道水以外で使用すると機能低下や破損の原因となります。

●保証期間について

本水栓の保証期間は2年間です。

●飲用について

本水栓は鉛溶出基準に適合しているため、飲用に使用することができます。

●清掃について（お手入れ）

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

○水栓の清掃

- 汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。それでも落ちないときは、水ぶきし、最後にからぶきしてください。水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - ※クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - ※酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ※ナイロンたわし、ブラシ等
 - ※シンナー、ベンジン等の溶剤

●ハンドル全開時の注意

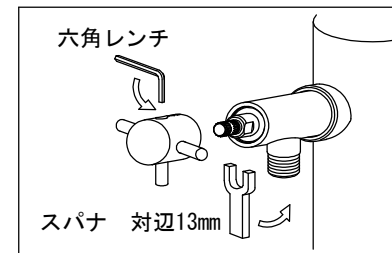
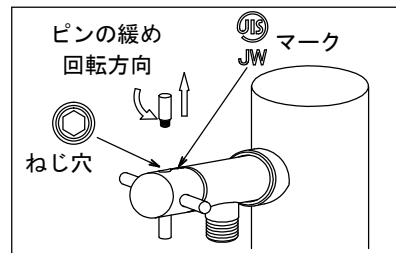
ハンドルを全開にするときは、ハンドルを反時計回りに回し、止まったところでやめてください。そこからさらに力を加えるとハンドルが戻らなくなることがあり、止水できなくなります。

●コマパッキンの交換方法

⚠ 作業を行う前に止水栓を止めてください。

○ 交換の際は市販の13mm用コマパッキン（直径14mm）を使用してください。

- ① ハンドルを回して、ハンドルのJISマークを上に向けてください。マークの上のピンを左に回してははずします。その中のねじを付属の六角レンチで緩めハンドルをはずします。



⚠ ねじを抜き取らずに緩めるだけにしてください。紛失の原因になります。

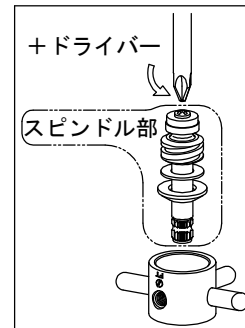
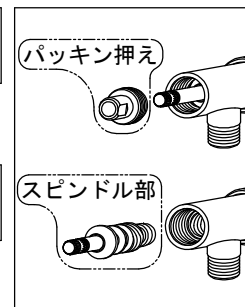
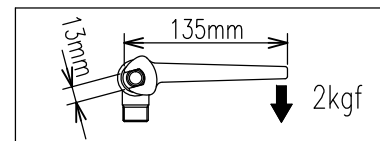
- ② 二面部分を工具で緩めてパッキン押えをはずします。次にスピンドル部をはずします。

⚠ 二面部分がつぶれないように対辺の合う工具を使用してください。

- ③ スピンドル部をハンドルに差込み手で支えながら、先端のビスをドライバーではずし、コマパッキンを交換します。

- ④ 交換作業終了後、スピンドル部を本体に戻します。そのときスピンドルが本体に突き当たるまでねじ込んでください。次にパッキン押えをねじ込み、二面部分をスパナで約2.4N・mのトルクで締めてください。

※2.4N・mは135mmのスパナの先端に約2kgfの力を加えた力です。



販売元 株式会社 宝泉製作所
群馬県太田市新道町1276-1
tel : 0276-31-5760
fax : 0276-32-1136
<http://www.the-sensui.com>